

視覚障がいとは！

本日、3,4時間目の時間に小6と中2が合同で、視覚障がいについて学ぶことができました。「国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局函館視力障害センター」の生活支援専門職の工藤様を講師に招き、視覚障がいについての説明を受け、体験を交えた学習を行いました。

事前に考えた質問、例えば「缶詰の中身が分からなかったらどうするのだろうか？」などにお答えいただきました。特殊なめがねを掛けて、見えにくくなったり、視野が狭まったりする体験では、印刷された文字が読みにくくなったり、歩くと怖かったりする体験ができました。また、白杖をもって歩く体験では、「おへその前にこぶし一個分開けて白杖をもち、自分の2歩前を確かめること」「白杖には（1）存在を知らせる機能、（2）触覚で情報を収集する機能（3）障害物を知る機能があること」などを教えてもらいました。そして、白杖をもって階段を歩く体験もすることができました。

子どもたちは、一生懸命話を聞き、質問するなど真剣でした。「もし、町で視覚障がいの方を見掛けたら声を掛けて手伝ってあげたい。」と話していました。貴重な体験ができたと思います。本当にありがとうございました。

6年生は、社会科や総合的な学習で他の障がいについて学んでおり、この後は視覚障害者センターに出向き、視覚障がいをおもちの方と交流したり、車椅子体験や高齢者体験をして理解を深める予定です。2学期には、盲学校と交流してみたいという希望をもっています。





そのことに先駆けて、先日行われた函館盲学校の運動会を学級担任の先生と見学させていただきました。

盲学校では、子どもたちが力を発揮するための様々な工夫や配慮がされており、大変感心しました。盲学校と交流することで新たな発見ができ、子どもたちの学びが深まってくれることを期待しています。

また、令和7年度には、函館盲学校と函館聾学校合同で創立130周年記念式典を実施する予定です。このような機会に両校の子ども達が親交を深め、お互いを理解して優しい社会の担い手に育ってほしいと考えているところです。

令和6年度 北海道函館盲学校 運動会

運動会テーマ2024

ちから

力をあわせ
みんながんばれ
レッツGO!



おじゃましました!



日 時

令和6年6月8日(土)

9時30分～11時40分

場 所

北海道函館盲学校 体育館・グラウンド